



2021・5・21

第 410 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

外交による友好関係構築こそ9条の精神

「敵基地攻撃論」のねらい究明

【愛知県／名大九条の会】 名大九条の会は「九条の会」愛知・大学人の会と共催で、4月17日にオンライン講演会「『敵基地攻撃』で平和は実現するのか」を開催しました。講師は名古屋学院大学教授の飯島滋明さんで、講演会は全員オンラインで25名の参加がありました。

講演会は和田肇名大九条の会世話人の挨拶で始まり斎藤一久名大九条の会事務局長の講師紹介で始まりました。

講演では、敵基地攻撃を行うにしても北朝鮮には移動可能なミサイル発射台が200台もあり、見つけることも命中することも困難であることが説明されました。それなのに敵基地攻撃論が主張されるのは、「日本防衛」のためではなく、アメリカといっしょに世界中で武力行使できる国づくりがあると喝破されました。敵基地攻撃能力を高めれば、対抗して軍事力を増強する口実を与えることになるといいます。

外交的手段による友好関係の構築こそ、平和な日本、市民を守るために必要だとい

政府、海外への武器輸出拡大を支援

日本政府は台湾海峡有事に対する米軍の軍事作戦には日本政府も支援をおこなうとするなど、自衛隊の武力行使の範囲を拡大する方向を強めています。外国に対する護衛艦や防空レーダーなど武器輸出を拡大することにも力を注ぎ、武器輸出に相手国に対する低利融資まで決定しました。

政府は14年に「武器輸出3原則」を撤廃、平和貢献や日本の安全保障に資する場合に武器の輸出を認めることとしましたが十分な成果があがっておらず、米軍の武器おしつけもあって低迷する日本の軍事産業をささえるのがねらいといわれています。

政府はさらに、日本の武器輸出企業には国が全額出資する日本貿易保険(NEXI)によって民間保険会社に対応しない高いリスクの海外取引の保険も請け負い、保険料を支払えば相手国の返済が滞ってもNEXIが補償する制度なども作っています。

9条の精神など眼中にありません。うのが飯島さんの結論だと思います。

講演の後、参加者による意見交換がおこなわれ、敵基地攻撃論は北朝鮮対応ではなく、対中国戦略であり、軌道のわからない超音速ミサイルを防ぐのは無理、軍事力で守ろうとするなら、予算がどれだけ必要になるか、日本の外交力はどれだけ機能しているのか、などの意見が出されました。核兵器禁止条約の締結には小国の力があつたとの意見もありました。（「名大九条の会ニュース」135号）

住民意思尊重、カジノ誘致やめよ

【神奈川県／九条かながわ】 5月3日、九条かながわの会は、桜木町駅前広場で、行き交う人々、ロープウェイを待つ人びとに、憲法9条を守る宣伝活動を行いました。

神奈川うたごえ協議会のメンバー10人による歌と音楽、5名のリレートーク、「憲法9条を守ろう！改憲発議を阻止しよう！」の横断幕を掲げたスタンディングと、日本学術会議会員任命拒否撤回を求める県民署名を集める活動を行いました。参加者は、九条かながわの会事務局メンバー、東戸塚九条の会と神奈川うたごえ協議会の方々など、25人でした。

リレートークでは、岡田尚事務局代表が「コロナ禍を口実に緊急事態条項を入れる改憲策動は許せない。横浜ではカジノ誘致についての住民投票を求める署名が19万以上集まった。住民自治を実現しようとする署名だった。8月22日の市長選では、カジノ反対の市長を実現しようと訴えました。

1時間ほどの活動でしたが、県民署名が17筆集まりました。（「九条かながわ」No21）

強化週間設け宣伝カー運行

【宮城県／宮城県内九条の会連絡会】

宮城県内九条の会連絡会は5月1日～5日を憲法を活かすための、市民に訴える行動週間に設定して、仙台市内各区に宣伝カーを運行しました。5月1日（青葉区米ヶ袋）、2日（泉区）、4日（青葉区、泉区吉成方面）、5日（宮城野区・若林区）でした。

また、憲法記念日の5月3日は仙台駅・ペDESTリアンデッキに各九条の会より20人が参加してスタンディングアピール行動をしました。

緊急事態条項は独裁への道

【奈良市／平城ニュータウン九条の会】

5月9日15時から近鉄奈良駅前「9条アクション」をおこないました。「憲法が大変！」と初めて参加された方や少しでも参加したいと13名で「改憲発議に反対する全国緊急署名」「核兵器禁止条約」「ミャンマー民主化署名」を市民に訴え、緊急署名に応じていただきました。「憲法大変！」チラシ100枚配付しました。

チラシは若い方が関心をもって受け取っていただきました。高校生が数人歩いていたので「絶対戦争に行ったらダメよ。戦争に行かなくていいように頑張るからね！」と言うとチラシを受け取って読みました。チラシには「今、憲法は分かれ道にあります。憲法を変えて『戦争が出来る国』にするのか、憲法9条を守り『国民の安心した生活』を守るのか、その岐路にたっています。コロナ感染拡大で医療崩壊し、国民は不安と困難な生活を強いられています。自民党は「ピンチはチャンス」とばかり改憲4

項目をすすめています。感染が拡大したのは国民のせいでしょうか？規制が弱いからでしょうか？違います。GOTOトラベルで人の流れを作り、PCR検査や補償も少なく、医療崩壊で感染しても入院できない状況を作り出したのは政治の責任です。緊急事態条項は総理大臣に全権を委任、権力が集中されます。ナチスの独裁政権を許した全権委任法と同じ内容です。ヒットラーはたった1ヶ月で独裁政権をつくりました。コロナ感染や災害への対応には法律で対応できます」と書かれています。おかしいと思えば声をあげましょう。

(九条の会奈良ネットワーク)

九条の会アピールを配付

【岐阜県／岐阜・九条の会】 岐阜・九条の会は9日、改憲策動を許すなど名鉄岐阜駅前で街頭宣伝しました。「市民の力で来る総選挙で改憲反対勢力を大きくし、改憲を断念に追い込もう」と訴えました。

代表世話人の吉田千秋さんや林邦男さんらが「憲法守れ」のプラカードを胸につけ、「市民警視・管理のデジタル法案反対・軍事費削ってコロナ困窮者救済に回せ」と書いた横断幕を広げながら、「今こそ市民が声をあげるとき、憲法9条破壊の新たな段階に立ち向かおう」と3日に発表された「九条の会アピール」ピラを配付しました。

信号待ちの若者男性2人が振り向いて訴えに耳を傾けたり、部活を終えた高校生が積極的にピラを受け取っていました。

アピールを会再起の武器に

【新潟県糸魚川市／九条の会 糸魚川】

「九条の会アピール」が、5月4日に新聞に発表されたのを受けて、「これは、すぐに会員に届けるべき」との判断をしました。その理由は、最近では会としての活動がほとんどストップした状況になっていたのを気にかけていたからです。

集まれる役員に声をかけ、「9条の会々員に届けよう」と増し刷り作業に取りかかり、会員260名に届ける手配をしました。役員らの奮闘で、1週間弱で会員宅に配布し終わりました。

しばらくつながりが途絶えていたので、会員同士のつながりを状況把握するいい機会となりました。お亡くなりになっていたり、病気で苦勞している方もおられました。久しぶりの再会を喜んで下さる方も多かったです。

役員たちも元気をもらい、これからの活動について考えていくきっかけとなりました。

ジェンダー平等めぐり論議

【栃木県那須塩原市／那須野が原・九条の会】 那須野が原・九条の会は15日、憲法カフェを開き、「憲法と家族・婚姻ジェンダーギャップ」について学習交流をおこないました。

日本のジェンダーギャップ指数が世界156カ国中120番目、先進国のなかでは最下位と報道された資料をもとに議論が交わされました。

「良妻賢母の碑など、教育を通して女はこうあるべきという風潮が刷り込まれてきたと思う」「女のくせに、などと言われると自分も引き下がってしまう」「ジェンダー平

等は女性問題ではない。男性にとっても自分が家族を支えるというプレッシャーを背負わされる」「ジェンダーに捕われない社会、自分の望まない選択をさせられない社会を目指すことだと思う」などの意見が出されました。

同カフェは毎月1回、会員の関心ごとや時事問題について、飲み物や軽食を楽しみながら学習交流しています。コロナ感染予防のため、現在は飲食の提供を止めていますが、メンバーは、早く再開させられるようになってほしいと言います。

若い会員の開拓が課題

【横浜市戸塚区／東戸塚9条の会】

「東戸塚9条の会」です。2005年5月13日に結成され、今年で16年目になります。

毎月ニュースを発行し、今月で17年になります。賛同者350人に、主に4つの地域に分け、配布担当を決めて配布しています。チラシは憲法共同センターのスポットも参考しています。

「9の日宣伝」は、JR東戸塚駅で9条ニュースの配付（平日は夕方18時から、休日は昼過ぎの各1時間）を、毎月9日に欠かさず行ってきました。

また、毎月第2土曜日の午前中の「勉強会」は、8人～12人が参加しています。その時々的重要なテーマを決めて、資料を探し、読み合わせ、侃々鱗々の議論をし、頭の体操にしています。

他に、弁護士、学者、新聞記者などを講師に学習講演会も、時々開催しております。

また、「改憲発議に反対する全国緊急署名」の署名行動は、地域を決めて、ローラ

ー作戦を3回やりましたが、その後はできておりません。（現在は、「戸塚町9条の会」が毎月1回ローラー作戦を実施）

「勉強会」のあとに、駅近くのお店での昼食懇親会で、お酒も入って熱い議論になることもしばしば、あまり熟くなりすぎて声高くなって、反省する面もありますが、楽しみの一つです。現在は、コロナウイルス蔓延防止のため中止しています。

「9の日宣伝」では、以前はスピーカーを使って肉声で訴えておりましたが、新型コロナ禍の状況下では、事前に集まって、3、4人で考えてきたスピーチを吹き込み音楽を挟んで録音し、スピーカーで流しています。

また、会員の一人が手書きの風刺の利いたイラストとスローガンをちりばめた大型ポスターを沢山作成してくれて、これを手すりや柱に貼っています。すると、これまでは厳めしい幟や横断幕には通り過ぎていった駅利用者も、このオリジナルで、いかにも素人っぽいポスターを、注意深く眺めていく人が多く、中には丹念に眺め、読んでいく人も散見され、効果は絶大です。

署名のためのテーブルを置いておくと、進んで署名に来られる人もいます。

ニュース・ビラは、雨の日には弱く100枚くらい、多いときは200枚超えもあり、うれしい悲鳴となります。配布したニュースを見て、勉強会に参加してきています。

問題は、会員（世話人）が高齢化しており、ニュース作りも若い方へ引継ぎたいと努力中です。今後の展望として、若いメンバーの開拓が急がれます。